

# 東京医学会

東京医学会 第 2621 回集会

日時：平成 25 年 11 月 29 日(金) 17:00~18:00  
場所：医学部教育研究棟 11 階 分子病理学分野集会室

演者：押森 直木 博士

(所属) **Laboratory of Mammalian Cell Biology & Development**  
**Howard Hughes Medical Institute**  
**Rockefeller University**

演題：**TGF- $\beta$  signaling in hair follicle stem cells**

紹介： 体を構成するほぼ全ての組織には固有の幹細胞が存在し、組織は幹細胞の活動を厳密に調節することで、組織細胞のターンオーバーや欠損後の再生を制御している。幹細胞の活動異常は、組織の機能欠陥や癌化を引き起こす恐れがあるが、その制御機構は幹細胞とニッチ細胞の複雑な細胞間相互作用に因るところが多く、未だ不明な点が多い。

皮膚表皮組織に付属する毛包は、伸長と退縮を自発的に繰り返す微小器官であり、組織再生における幹細胞制御の研究に適したモデルである。最近私たちは、TGF- $\beta$  シグナルが毛包幹細胞の休眠状態の解除に重要であることを見出し、本セミナーでは明らかにした分子機構についてディスカッションさせていただきたい。

押森博士は、中心体キナーゼとその基質分子 Kizuna の同定および機能解析等の細胞分裂研究で 2008 年に東京大学理学系研究科山本雅教授のもとにて博士号を取得。同年より米国ロックフェラー大学の Elaine Fuchs 博士の研究室で、マウス皮膚を研究モデルとした細胞生物学、特に幹細胞の制御機構の研究を行っている。

主催：東京医学会

共催：分子病理学教室